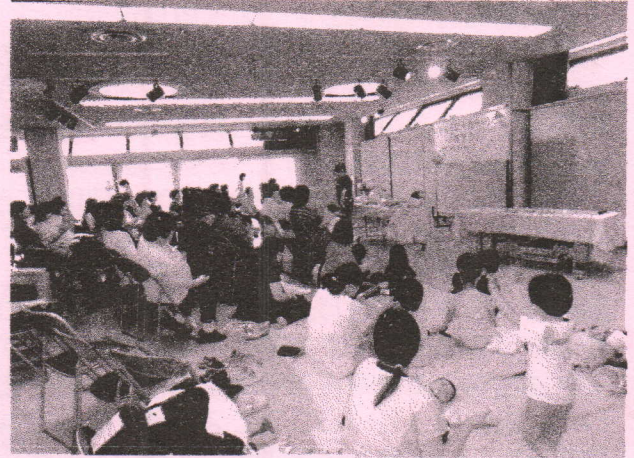
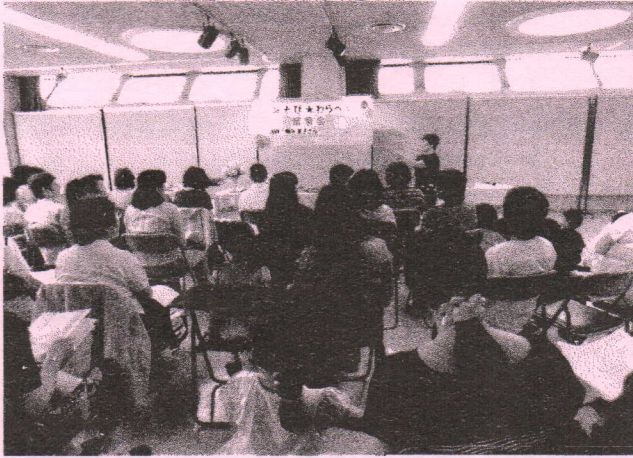


第37号
平成25年8月5日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

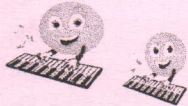
市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



手あそび&わらべうた講習会に参加した皆さん

昔からの遊びや歌を子どもたちに伝えていこうと「手あそび&わらべうた講習会」(NPO 法人ふくろうの森主催)が6月22日、鳴門市立図書館で開かれました。講師の梅谷美子氏(子育て支援センターきりんはうす事務局長)が歌いながら手や体を動かすと、参加した子どもたちや大人もそれに合わせて手などを楽しそうに動かしていました。



活動紹介

琴城流大正琴ボランティアクラブ

代表 阿部 善信

私たちの琴城流大正琴ボランティアクラブは平成14年5月に発足、大正琴演奏を通じて地域社会との交流を図り、社会に貢献する事を目的に発足しました。現在大正琴の会員は80名たらずですが、このボランティア会員は全体の会員の中から演奏技量、人格の卓越した会員を任命し現在16名が活動しております。

活動内容は鳴門市、徳島市、板野郡、吉野川市、名西郡等約40数箇所のデイケアハウス、病院、老人施設、福祉関係施設等を演奏慰問しており、最近5年間で平均80回、鳴門市など公の主催イベントに平均10回程度合計年間約90回出動しています。

昨年は大正琴生誕100周年記念イベントが全国的に展開され、また、第27回国民文化祭が皇太子殿下御臨席のもと徳島県で開催されましたが、私たちのボランティアクラブも国民文化祭に美馬郡脇町「オデオン座」に於いてコンサートを開催し盛会裡に終了しました。

また今年に入って2月には、第31回琴城流大正琴演奏会をキングレコード歌手とコラボレーションコンサートを開催し盛会裡の内に終了しました。

今年で正式にボランティア活動を始めて12年に入りましたが、老人福祉施設での約1時間の慰問演奏が終わり帰り支度をしているときに施設利用者の方で「また必ず来てくださいますよ。今度は何時来てくれるの」と目に涙を浮かべて私たちに熱い声をかけてくださる、その一言が私たちが長期に及ぶボランティア活動に執着したのであると思います。

このボランティア活動は月に平均6回~7回慰問に行っていますが、週に2回~3回を川東公民館に於きましてボランティアクラブ指導員阿部光代先生の指導により練習をしております。いつでも慰問演奏に出演できる体制にしております。これからも健康に留意し少しでも長く慰問演奏等を継続して行きたいと思っております。



大津地区自治振興会活動の便り

大津地区自治振興会
会長 大西 勝

私たちの大津地区は、鳴門金時芋、れんこん、梨、大根等々、阿波の特産品を栽培し、特に京阪神地区の台所を支える農業経営が主な産業となる地域特性を形成しています。

大津地区自治振興会は、大津町東部地域として「長江・徳長・吉永・矢倉・木津野」大津町西部地域として「備前島・大代・段関・大幸」の合計9地区3305世帯で構成され各地域の特性を活かした自治振興活動を展開しています。

主な地域づくり活性化活動として、鳴門市花街道地域づくりに9地区が積極的に参加し国道28号線より大幸地区間の市道（基幹農道4km）花壇にコスモスを栽培し、秋には大津農協前でコスモス祭りを開催して、大勢の見物客並びに小さな子供さんからお年寄りまで地域内の皆さんが参加して、咲き誇っているコスモス街道を散策鑑賞しながら楽しい秋の1日を満喫して頂いています。尚、コスモス祭り開催（平成24年10月15日）当日には大津農協前で鉢花と風船を参加者の皆様にお配りし花作りのきっかけとして喜ばれています。



大津農協前のコスモス祭り接待所

その他には、地域づくり活性化事業（活動の一部抜粋し下記に記載）は、

- ①健康づくり事業活動として、グランドゴルフ大会（平成24年11月19日）、囲碁ボール大会（平成25年3月23日）の町内大会を開催し健康づくりと地域交流に努めています。
- ②域交流事業活動として、各地域自治会の催し及び地域交流行事（例えば、第一・大津西小学生児童による凧づくり、竹とんぼづくり、各地域の祭りやカラオケ大会等）の共催を図り地域交流を盛り上げています。
- ③生活環境整備事業活動として、EM液及びEMダンゴ作りを行い希望する大津地区内に配布し河川への投下による水質浄化に取り組んでいます。
- ④安全な街づくり事業活動として、交通安全パトロール・交通安全キャンペーンを毎年（11月下旬）大津農協前で関係団体と共催で開催しドライバーに特産品の鳴門金時芋を配布しながら交通安全運転を呼びかけています。又、小学生児童による交通安全標識づくり等々。

コミュニティ事業活動は、花街道整備活動・福祉施設訪問・自主防災会の大津地区連絡協議会の組織づくり等々、特に大津地区内の9地区自主防災会は平成24年4月をもって全地区の組織が結成されました。現在大津町自主防災連絡会の立ち上げ組織づくりに取り組んでいます。

今後とも、地道に地についた地域活性化の街づくり・コミュニティ活動を推進し、大津地区の地域活性化に結びつく運動を進めていきたいと思っています。

鳴門市市民活動支援センター

市民の皆さんの社会貢献活動をサポートします！

「NPO法人を設立したいがどのような手続きをすれば良いの？」

「NPO法人の運営に関してアドバイスをしたい」

「地域のためにボランティア活動を始めたいけど、どのような団体があるの？」など



鳴門市市民活動支援センターでは、専任指導員が市民のみなさんの社会貢献活動に関するご相談に応じます。お気軽にお立ち寄りください。

NPO法人やボランティアグループのみなさんが会議などにご利用いただけるスペースも準備しています。

鳴門市撫養町南浜字東浜30-9 老人福祉センター1階

開館日 月～金曜日 13:00～18:00 休館日 土・日・祝日・年末年始

TEL088-685-7170（鳴門市社会福祉協議会内）

FAX088-686-4059

E-mail: naruto.npo.shien@gmail.com

『 数字のメッセージ 1212 』



NPO法人ジョブOBネットワーク
理事長 仁尾 國雄

「GG世代」、50歳以上のアクティブシニア層を総称して呼び呼称です。シニアの社会参加を応援する弊NPO法人ジョブOBネットワークにも当てはまるかも知れません。「GG世代」は文字にすると心地よいのですが、肝心な会話言葉になると「ジージー世代」「ジジ世代」「爺爺世代」など少々荒っぽくなります。果たして定着度はいかなもののでしょうか・・・。

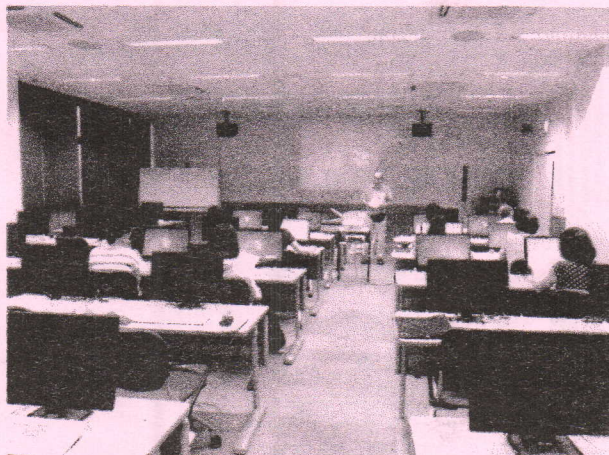
シニアの社会参加を応援する活動の一つに「講座」があります。まずは「市民パソコン活用講座」です。アクティブなシニアライフに繋がればと定期的に年間3～4回開催しています。

吉野川市にはネット上で『さっちゃん』と呼ばれる90歳の人気ブロガーが活躍されています（堀江幸子さん）。堀江さんは「会ったことのない人が、毎日見てくれるから休むわけにはいかない」とコメント、毎日趣味の絵をアップしています。高齢化社会にとって「孤立」はもはや特別なものではありません。講座がパソコン活用を通じた人とのコミュニケーションに繋がることを期待しています。

次は「NPO会計人材養成講座」です。
NPOは昨年4月から新しい会計基準が施行されました。徳島県の認証されたNPO法人は315法人（5月末）、法人化せず任意組織で活動している団体等も数多くあります。どちらも、その多くはいわゆる小規模な組織とされています。小規模な組織ゆえの課題の一つに「会計人材」の不足、育成があります。新たな地域コミュニティの担い手として期待される小規模なNPO等の会計力アップに繋がることを期待しています。

「1212」何の数字かといいますと弊NPO法人が毎年県に提出する事業報告書の累計数字です。わかり易く言いますと弊NPOが6年間で関わった講座、セミナー等への参加者の総数です。

NPO法人ジョブOBネットワークの大切な数字のメッセージです。



市民パソコン活用講座

「市民パソコン活用講座」

【日 時】8月19日（月）午後6時30分～8時まで 毎週月曜日6回コース

【場 所】徳島県立障害者交流プラザ

【参加費】6,000円（教材費込）



【問合せ先】NPO法人ジョブOBネットワーク ☎090-8691-1085

URL : <http://www.jobnet.v-npo.jp>

NPO「会計人材養成講座」

【日 時】8月24日（土）とくしま県民活動プラザ 午後2時～4時まで

【日 時】8月25日（日）NPOジョブOB事務所（鳴門市） 午後2時～4時まで

【参加費】500円



「最近思うこと」

こんにちは、みなさんお久しぶりです。

この「市民活動情報紙なると」に「私たちの4年間とこれから」というテーマで文章を載せて頂き、早3年が経ちました。

その間私たちの団体は「聴覚に障害を持つ人が安心して地域で生活できるように」生活面の支援や、生きがい活動の企画運営ふれあいの居場所や有償ボランティア、助け合い活動等を鳴門市に留まらず広域に活動ができるようになりました。

今回また載せて頂けるということでどんなことを書こうかな?と考え4年前の文章を読み返していると、4年前に書いた「これからの不安」がまさに今起こっています。

NPO法人あたたかい手コラボ
理事長 斉藤 あや子

それは障害を持つ高齢者の生活の問題です。自分の状況をうまく話せない彼らにとってこれからどうしたいのかが言えない。情報が入らない彼らには、自分の将来を選択する材料などなく、聞こえる人主導で話が進み結果だけ聞かされる。など尊重されるべき本人の意志は後回しという状態です。

そんな場面に遭遇するたび私たちの活動もまだまだ・・・と感じます。

今後も私たちは様々な活動を展開しながら仲間を増やし、更に前へ前へと進んでいきたいと思えます。

また3年後「情報紙なると」で活動報告をできたらいいなと思っています。

行事のお知らせ

「ふくろうの森」文学教室 ②

「会津若松と鳴門」

【日 時】平成25年10月12日(土)

13:30~15:30

【場 所】鳴門市立図書館2階 視聴覚室

【講 師】西田 素康さん 鳴門郷土史研究会

【内 容】戊辰戦争と会津(1868年~1869年)

松平容保(藩主)と家老群

会津関係略年表

「八重の桜」(NHK大河ドラマ)に関して

【対 象】一般。興味のある方、どなたでも

【費 用】100円(当日、受付にて集金)

【持ち物】メモ用紙、筆記用具

【申込方法】申込書に記入の上、ふくろうの森事務所までTEL・FAX または、鳴門市立図書館児童室入口の申込箱を利用してください

【申込受付】9月3日~10月12日

(なるべく事前申し込み先着順、当日受付可)

【定 員】50名(定員になり次第、締切り)

【問合せ先】

NPO法人「ふくろうの森」事務所

☎088-685-0389

応募

平成26年度NFD one leaf fund

◇助成対象事業

1) 植物保護活動

2) 自然保護・環境保全・環境福祉の調査・研究

◇応募資格 対象事業を行う団体・個人

◇対象期間

平成26年4月~平成27年3月に実施を予定しているもの

◇助成金額 1件あたり80万円を限度

◇締切日 平成25年8月31日(消印有効)

◇問合せ先

公益社団法人日本フラワーデザイナー協会

☎03-5420-8741

忘れていませんか!!

○資産の変更登記(金額が変われば毎年)

○役員(代表者)の変更登記(2年に1度)
(役員改選で再任された場合も)

(定款に「理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する」との規定があって、現在も理事全員が登記されたままであるNPO法人は「代表権を有する理事以外の理事の代表権喪失」の登記が必要です)

※登記を怠ると過料が課される場合があります。